

スクリーニング検査とは

スクリーニング法とは

厚生労働省では、食品衛生法に定める一般食品の放射性セシウムの基準値100Bq（ベクレル）/kgを確実に下回るものを迅速に判別することができる「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」という検査方法を定めています。

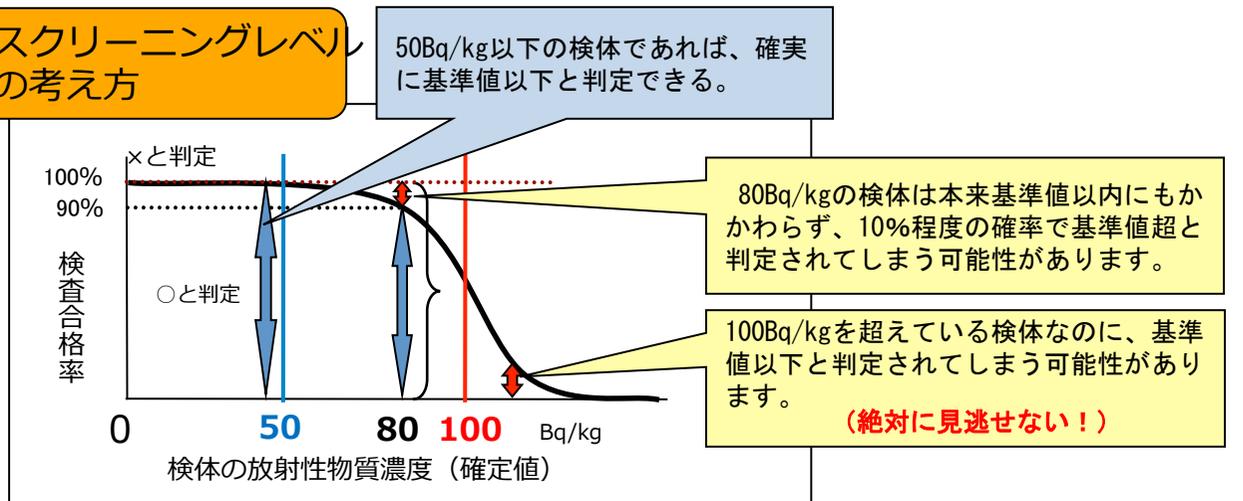


スクリーニングレベルとは

スクリーニング法に基づく検査において、基準値（100Bq/kg）を確実に下回ると判定するための値のことを言います。

スクリーニング法において、「スクリーニングレベル」とは基準値（100Bq/kg）の1/2（50Bq/kg）以上と定められています。

スクリーニングレベルの考え方



(スクリーニングレベルが 50Bq/kg の検査機器を用いた場合の例)

スクリーニングレベルを超える検体の正しい濃度を知るには詳細検査が必要です。

測定下限値とは

スクリーニング法において、「測定下限値」は基準値（100Bq/kg）の1/4（25Bq/kg）以下と定められています。